

# 手ぶらで三輪車

保証書付き

# 取扱説明書

- 運送年齢：1歳から5歳のお誕生日まで
- 制限体重：25kg以下  
(バッグ類の制限重量は含みません)

この説明書・保証書は大切に保管してください。

三輪車を安全で快適にご使用頂くために、必ずお読みください。

生産物賠償責任保険付

YG410 取説 1608

## 1. 「警告」「注意」事項 お客様の安全の為に、必ずお読みください。

手ぶらで三輪車は、公園等屋外での使用のためにつくられております。人にぶつかる等思わぬ怪我の原因になることもありますので、人通りの多いところや暗い場所では使用しないでください。店舗などにおけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上ご使用くださいますようお願い致します。



警告

取扱いを誤った時に使用者が死にもししくは骨折などの重傷を負う可能性が想定されるもの。

- ◆ 三輪車以外の目的で使用しないでください。
- ◆ 小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外しは、お子様がそばにいない状態で行ってください。
- ◆ 保護者の目の届く範囲でご使用ください。
- ◆ 初めて乗るお子様には、保護者が使用上の注意を指導してください。
- ◆ ペダルを漕いで遊ぶ時は、お子様の足が地面及びペダルに確実に着くことを確認してから使用してください。
- ◆ 斜面及び段差のある場所、転落の恐れがある場所では乗らないでください。また、壁などにぶつけないでください。
- ◆ 通行の頻繁な道路、車両交通の多い場所で使用しないでください。
- ◆ お子様サドルやペダルの上に立ち上がりたりしないようご注意ください。
- ◆ 車輪の周囲や回転部分、可動部分には手や足を入れないようにしてください。
- ◆ 二人乗りなどの危ない乗り方は絶対にしないでください。
- ◆ ひっきり返して遊ぶなど、乗車以外の目的では使用しないでください。
- ◆ ご使用の際は、必ずお子様に靴を履かせてください。裸足で使用すると隙間等で思わぬ怪我をする恐れがあります。
- ◆ お子様を乗せたまま本体を持ち上げないでください。
- ◆ 車体を持ち上げる際は、必ず本体フレームを持ってください。特に、押し手棒、ガード、サンシェード等を持って車体を持ち上げることは絶対におやめください。
- ◆ 押し遊びはしないでください。
- ◆ 三輪車は一般的に、構造上、ハンドルを切った時やペダルを踏み込んだ時に転倒することがあるので、注意してください。
- ◆ 『かじとり押し手棒』について下記にご確認ください。
  - ・ 取り付け操作は必ず保護者が行ってください。
  - ・ お子様サドルの上に立ち上がり、押し手棒に寄りかかると倒れる恐れがあります。絶対にしないでください。
  - ・ 押し手棒は自分で運転できないお子様のための補助具です。自分で運転できるようになったら必ず取り外してください。
  - ・ 押し手棒の操作は、必ず保護者の方が行い、お子様には絶対操作させないでください。転倒の恐れがあります。
  - ・ 押し手棒を操作する際は、お子様の足がタイヤに巻き込まれないように注意してください。
  - ・ 押し手棒をつけた状態で使用するときは、必ず足乗せステップを使用し、ペダルロック機構を「FREE」の状態にしてください。
  - ・ 押し手棒で操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
  - ・ 押し手棒に付属のバッグ以外の物をかけないでください。転倒の恐れがあります。
  - ・ お子様を乗せたまま車体を持ち上げる為に押し手棒をてこに使わないでください。押し手棒が破損したり、荷重で曲がってしまう恐れがあります。
  - ・ お子様の足がペダルに乗っている場合、押し手棒で無理な力を加えないでください。
- ◆ 『ガード』について下記にご確認ください。
  - ・ 取り付け・取り外し操作は必ず保護者が行ってください。
  - ・ ガードの上に乗ったり、無理な力をかけないでください。
  - ・ ガードは自分で運転できないお子様のための補助具です。自分で運転できるようになったら必ず取り外してください。

- ◆ 『足乗せステップ』について下記にご確認ください。
  - ・ 足乗せステップは自分で運転できないお子様のための補助具です。自分で運転できるようになったら必ず折りたたんでください。
  - ・ 足乗せステップの上に立ち上がらないでください。また、足乗せステップを三輪車に乗り降りするときの踏み台にはしないでください。
- ◆ 『ペダルロック機構』について下記にご確認ください。
  - ・ ペダルロック機構の切り替えは、必ず保護者の方が行ってください。また、必ずお子様が乗っていない状態で行ってください。手などを挟む恐れがあり大変危険です。
  - ・ 「LOCK」モードのまま、押し手棒の操作をしないでください。お子様の足がペダルに巻き込まれる恐れがあります。
  - ・ ご使用になる前は、必ず「FREE」か「LOCK」のどちらになっているかを確認し、用途に合った状態に合わせて使用してください。(→P6~7参照)
- ◆ 『すぐ出るポケット』『まるごとトランク』『お外トイバスケット』『プチキッズリュック』について下記にご確認ください。
  - ・ 『すぐ出るポケット』『まるごとトランク』『お外トイバスケット』の取り扱いは保護者が行ってください。布で顔を覆う行為による窒息や、手を挟むなど事故の危険がありますので、お子様は絶対に使用しないでください。
  - ・ 各種バッグ類は、お子様が自分で運転できるようになったら必ず取り外してください。
  - ・ 各種バッグ類からの荷物の出し入れは、本体が動き出さないよう、平地で本体を手で支えながら行ってください。お子様には出し入れをさせないでください。
  - ・ 各種バッグ類に鋭利なものを入れないでください。布部分が破れる恐れがあります。
  - ・ 各種バッグ類は「手ぶらで三輪車」専用です。他の用途に使用しないでください。
  - ・ 各種バッグ類にお子様を乗せたり、重いものを入れしないでください。(すぐ出るポケット：制限重量1kg以下、まるごとトランク：制限重量3kg以下、お外トイバスケット：制限重量5kg以下、プチキッズリュック：制限重量1kg以下)。
  - ・ 破損による怪我の恐れがあり大変危険です。
  - ・ 各種バッグ類にペット(犬・猫等)や生き物を入れしないでください。
  - ・ 取り外した部品はお子様の手の届かないところに保管してください。
- ◆ 『サンシェード』について下記にご確認ください。
  - ・ サンシェードの取り扱い、保護者が行ってください。手を挟む恐れがあり危険です。
  - ・ サンシェードは、お子様が自分で運転できるようになったら必ず取り外してください。
  - ・ 強風のときはサンシェードを使用しないでください。転倒し思わぬ怪我をする恐れがあります。
  - ・ サンシェードに乗ったり、過度な荷重をかけないでください。破損による怪我の恐れがあり大変危険です。

注意

取扱いを誤った時に使用者が障害を負う危険が想定されるもの、及び物的損害のみの発生が想定されるもの。

- ◆ 使用前には必ずお手入れ、点検を行ってください。故障及び破損したまま使用しないでください。
- ◆ 長い間の使用中にネジが緩むことがあります。お手数でも締め直してください。
- ◆ 屋外で使用された後は、直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
- ◆ 火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
- ◆ 砂場や氷たまりで使用しないでください。
- ◆ サンシェードや各種バッグ類の品質保証は本体保証書に即します。お客様の不注意による破損や、経年変化による色落ちなどは補償の対象外となります。
- ◆ サンシェードや各種バッグ類は、素材の性質上、損傷や色落ちの原因となりますので、洗剤や水での丸洗いはお避けください。汚れた場合は、水で濡らした布を固く絞ってから拭いてください。
- ※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」、「注意」が表記してありますので、そちらもお読みください。

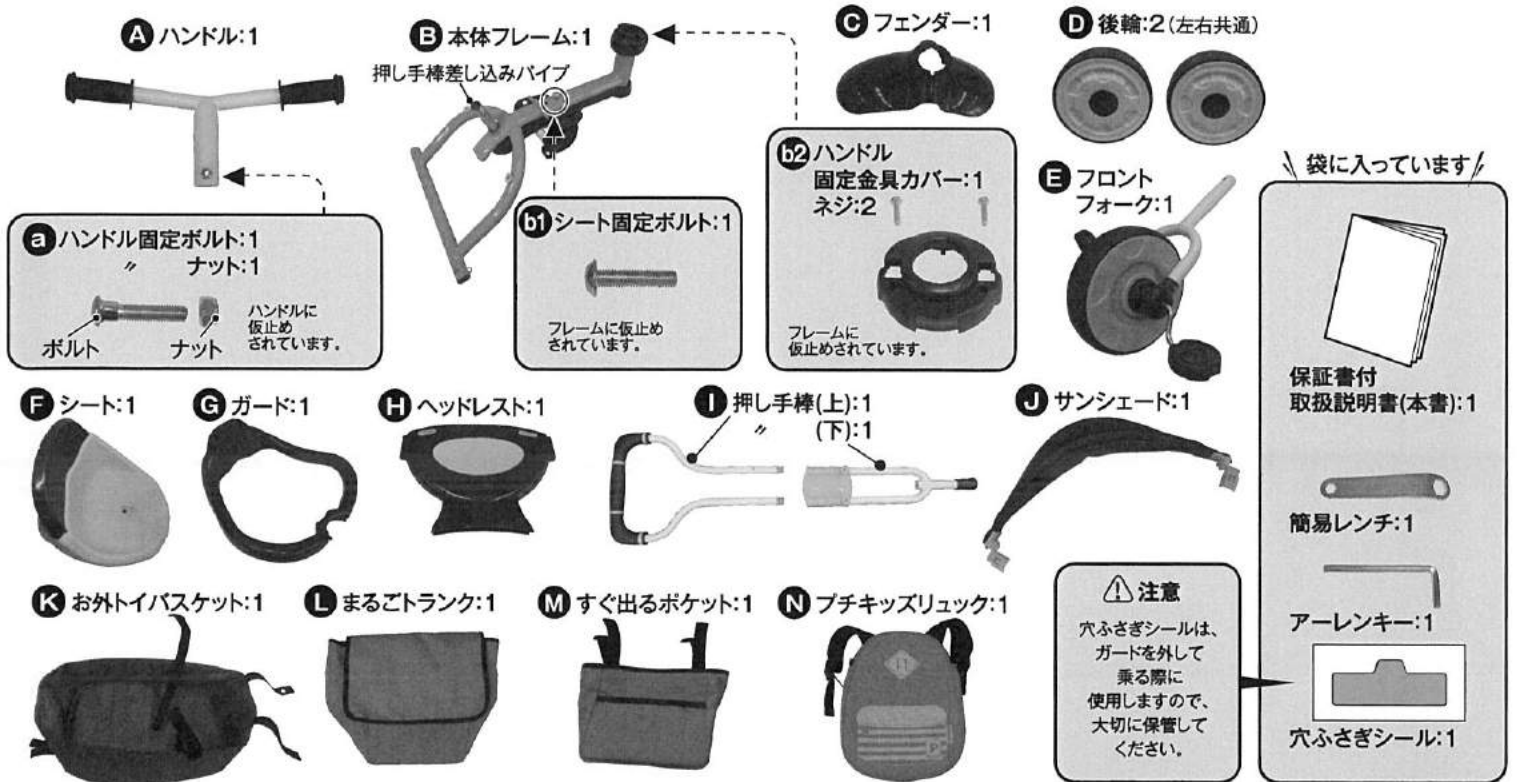
## 2. 目次

■ 1. 「警告」「注意」事項……………P1	■ 6. かじとり押し手棒の取り扱い方……………P5	■ 11. ペダルロック機構の取り扱い方…P6~7
■ 2. 目次……………P1	■ 7. サンシェードの取り外し方……………P5	■ 12. 日常のお手入れと保管……………P7
■ 3. セット内容……………P2	■ 8. ヘッドレスト及びガードの取り外し方…P5	■ 13. 保証書……………P8
■ 4. 各部の名称……………P2	■ 9. 各種バッグ類の取り外し方……………P6	
■ 5. 組み立て方……………P2~5	■ 10. 足乗せステップの取り扱い方……………P6	

### 3. セット内容

※組み立てには、プラスドライバーが必要です。  
セットには含まれておりませんので、ご家庭でご用意ください。

※本説明書に掲載されている画像やイラストが、  
実物と多少異なる場合がございます。予めご了承ください。



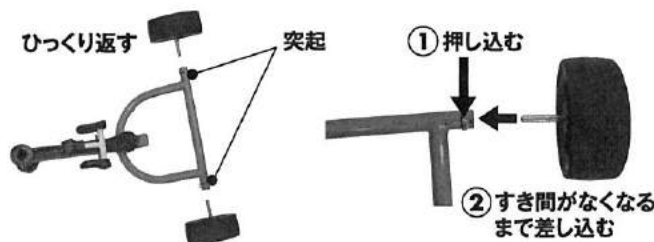
### 4. 各部の名称



### 5. 組み立て方

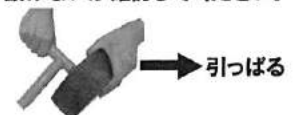
#### 1 D 後輪を取り付ける

B 本体フレームをひっくり返し、後輪軸についている突起を押し込みながら、同時に D 後輪を差し込む。  
(反対側も同様に取り付ける)



#### 注意

・差し込んだ後は、引っぱって抜けないか確認してください。

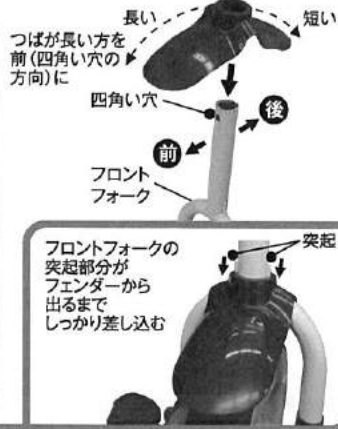
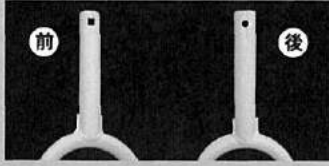


・突起の先端がやや鋭利なため、取り付け時に怪我をしないよう、ご注意ください。

## 2 E フロントフォークに G フェンダーを取りつける

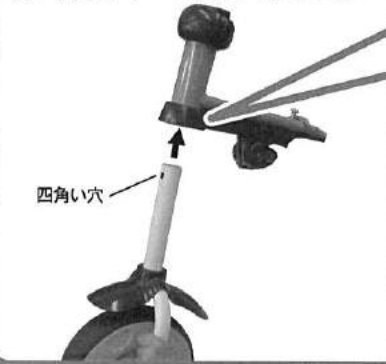


**注意**  
フロントフォークの上部には2つの穴が空いています。  
**四角い穴が前、丸い穴が後ろ**になりますのでご注意ください。  
※向きを逆にすると、ハンドルを固定する際に、金具が入らなくなります。



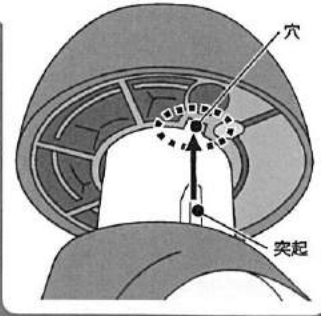
## 3 本体フレームに フロントフォークを取りつける

フロントフォーク上部の四角い穴を前に向け、フレームに下から差し込む



下から見た図

フレーム内部の穴にフロントフォークの突起を差し込む



## 4 A ハンドルを取りつける

- ① A ハンドルに仮止めされている  
a ハンドル固定ボルト・ナットを外す



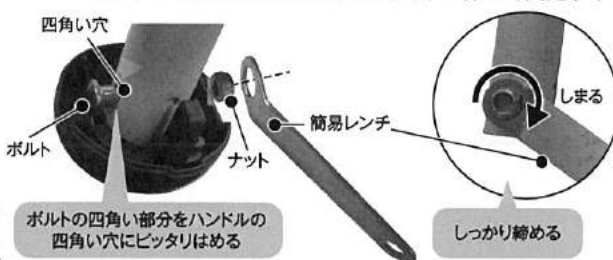
- ② ハンドルのパイプ部分に空いている四角い穴を前に向けて、本体フレームに差し込む



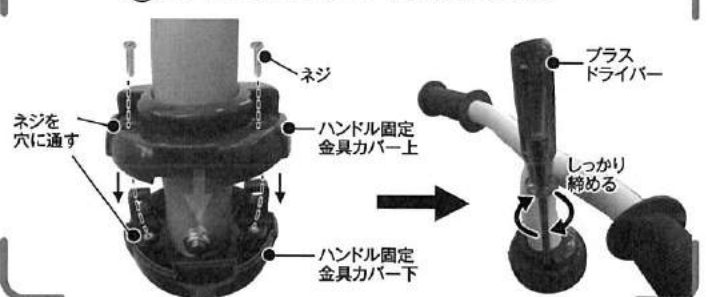
- ③ 本体フレームに仮止めされている  
b ハンドル固定金具カバーを、プラスドライバーを使って外す



- ④ ハンドルとフロントフォークの四角い穴を合わせて、ハンドル固定ボルトを差し込み、ナットを締めて固定する

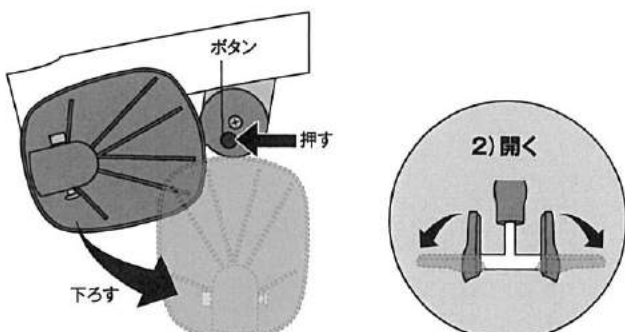


- ⑤ ハンドル固定金具カバーを再度取りつける

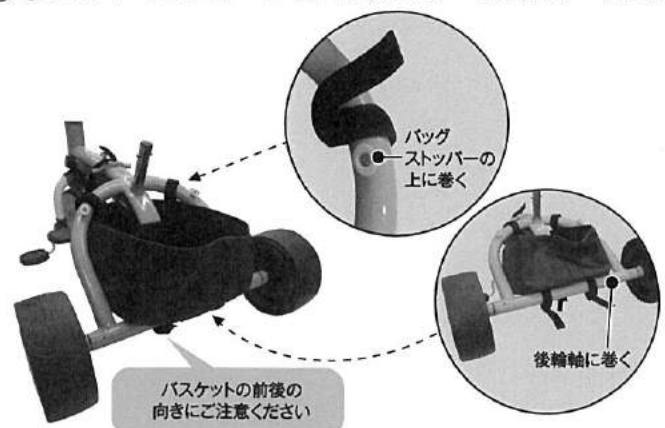


## 5 K お外トイレバスケットを取りつける

- ① 足乗せステップを下ろし、開く。  
1) ステップ折りたたみパーツのボタンを押しながら、「カチッ」という音がするまで足乗せステップパイプを下ろす



- ② K お外トイレバスケットについての面ファスナーを本体フレームに巻きつける

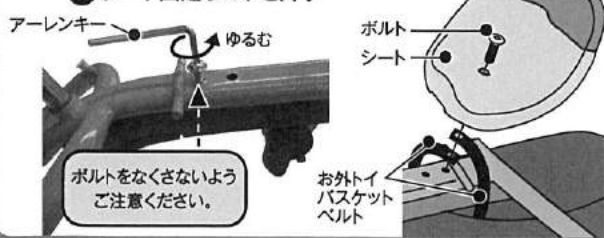




## 6 F シートを取りつける

② ボルトを、シートの穴、お外トイレバスケットのベルト穴(2枚)、フレームの穴に通し、固定する

① 本体フレームについている  
B シート固定ボルトを外す



⚠ 注意  
本体フレームには、シートを固定する穴が前後に2つあります。  
注意 お子様の成長に合わせて、以下のように使用してください。

① まだ自分でペダルをこげない  
**1歳~2歳半ごろ**

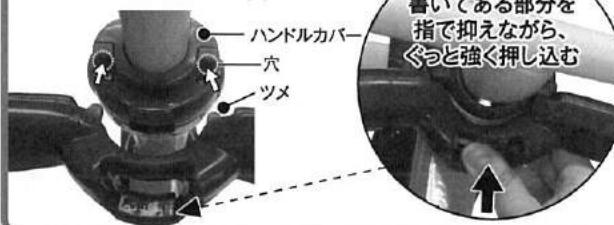
足をペダルから遠ざけ、  
足乗せステップに乗せやすくするため、  
後ろの穴で固定する

② ペダルを漕ぐ練習を始める  
**2歳半ごろ~**

ペダルに足が近くなるよう、  
前の穴で固定する

## 7 G ガードを取りつける

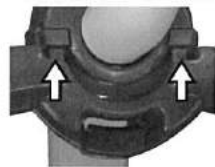
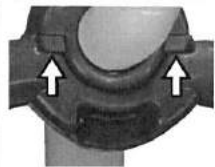
① G ガードのツメを  
ハンドルカバーの穴にはめる



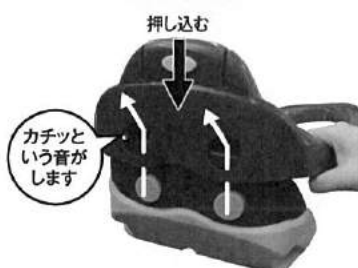
⚠ 注意

ツメが穴にしっかり入っているのを確認してください。

○ ツメがしっかり入っている × ツメがきちんと入っていない



② ガード背面の穴にシート背面の丸いボタンがはまるように  
ガードを上から押し込む



## 8 H ヘッドレストを取りつける

⚠ 注意  
指を挟まないよう  
ご注意ください。

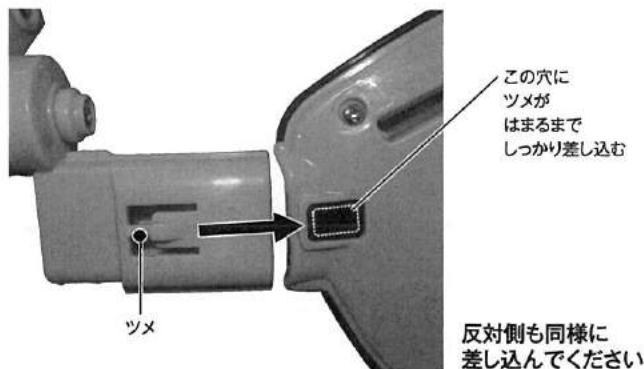
ガード背面のボタンが  
H ヘッドレストの穴にはまる向きに  
ヘッドレストを差し込む

カチッという音が  
します



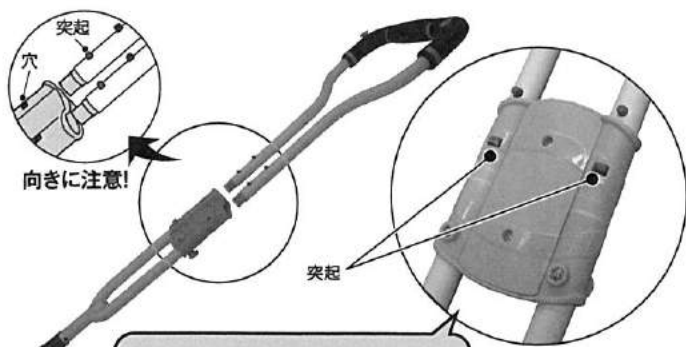
## 9 J サンシェードを取りつける

① サンシェードの端の取り付けパーツについている  
ツメが後ろに来る向きで、ヘッドレスト左右の穴に差し込みます



## 10 I 押し手棒を取りつける

① I 押し手棒(下)に押し手棒(上)を「カチッ」という音がするまで差し込む

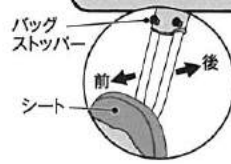


⚠ 注意  
押し手棒(下)の上部の穴に  
押し手棒(上)のグレーの突起が  
出ていることを確認する

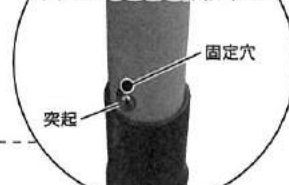
② 本体フレーム後部の押し手棒差し込みパイプについている  
突起2つを押し込みながら、押し手棒を差し込む

⚠ 注意  
押し手棒(下)の  
バッグストッパーが  
前方に来る向きに  
差し込んでください。

⚠ 注意  
指を挟まないよう  
ご注意ください。



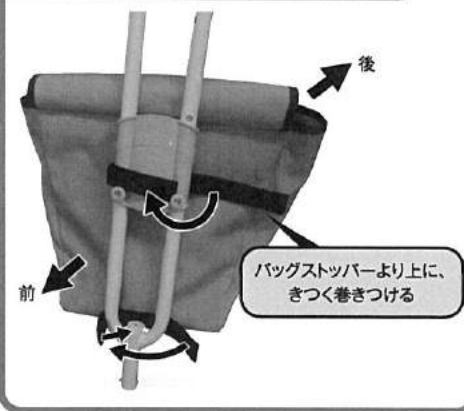
突起が固定穴から  
出ていることを確認する



# 11 押し手棒の持ち手部分に M すぐ出るポケットを取りつける



# 12 押し手棒中部に L まるごとランクを取りつける



# 13 ハンドルに N プチキッズリュックを取りつける



## 6. かじとり押し手棒の取り扱い方

### 操作方法

押し手棒の持ち手を左に切る  
↓  
左に曲がる



押し手棒の持ち手を右に切る  
↓  
右に曲がる

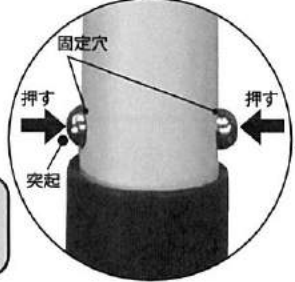


**注意**

- 突起が穴にはまっていなくて、押し手棒が固定されず危険です。必ず押し手棒の固定穴にはまっていることを確認してご使用ください。
- 押し手棒で操作をする前に、ペダルロック機構が「FREE」になっていることを必ずご確認ください。(→P6~7参照)

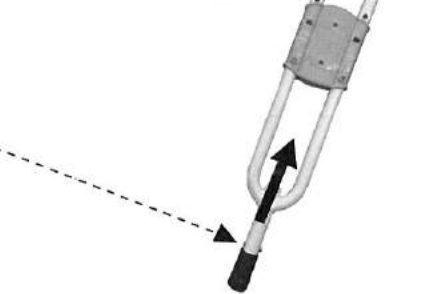
### 押し手棒の取り外し方

- ① 固定穴から出ている左右の突起を押し込みながら...
- ② 押し手棒を引き抜く



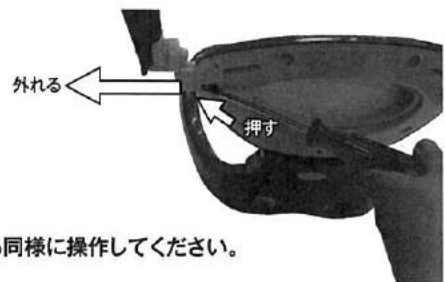
**注意**

手を挟まないよう充分ご注意ください。



## 7. サンシェードの取り外し方

ドライバーなど、細くて固いもので、ヘッドレスト背部の穴から出ているツメを押し込むと、サンシェードが外れます。



※反対側も同様に操作してください。

**注意**

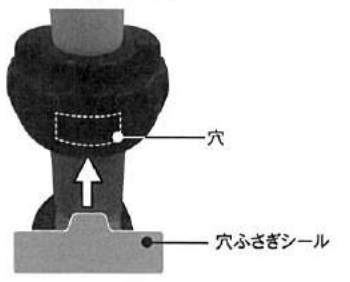
サンシェードは固く止められており、外す時は勢いよく飛び出ます。お子様が側にいないことを確認し、充分ご注意くださいの上、取り外してください。

## 8. ヘッドレスト及びガードの取り外し方

- ① ヘッドレスト背部の丸形ボタンを押しながら、ヘッドレストを引き抜く
- ② ガードから出ている丸形のボタンを左右同時に押しながら、ガードを引き抜く



- ③ ガードを外した後は、お子様がハンドル固定金具カバーの穴に指を入れないよう、穴ふさぎシールを必ず貼ってください。



## 9. 各種バッグ類の取り外し方

⚠ 注意 お子様が自分で運転する際は、各種バッグ類を必ず取り外してください。

### <すぐ出るポケット・まるごトランク>

面ファスナーをはがし、  
バッグを外す



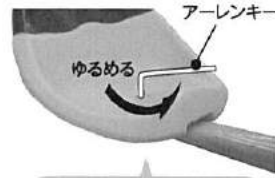
### <プチキッズリュック>

肩ベルトを片方ずつ  
ハンドルから外す



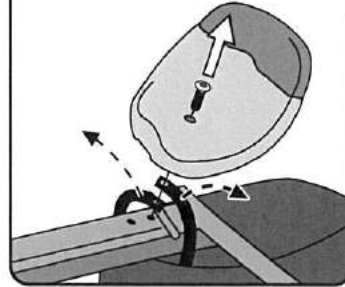
### <お外トイレバスケット>

#### ① シート固定ボルトを外す

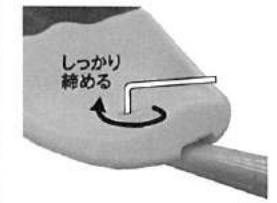


ボルトをなくさないよう  
ご注意ください。

#### ② シートを一度外し、 ボルト穴に通していた バスケットのベルトを外す



#### ③ ボルトをシートの穴、 フレームの穴に通し、 再度固定する。



#### ④ 面ファスナーをはがし、 バスケットを外す



⚠ 本体フレームには、シートを固定する穴が前後に2つあります。  
注意 お子様の成長に合わせて、以下のように使用してください。

#### ① まだ自分でペダルをこげない 1歳~2歳半ごろ

足をペダルから遠ざけ、  
足乗せステップに乗せやすくするため、  
後ろの穴で固定する

#### ② ペダルを漕ぐ練習を始める 2歳半ごろ~

ペダルに足が近くなるよう、  
前の穴で固定する

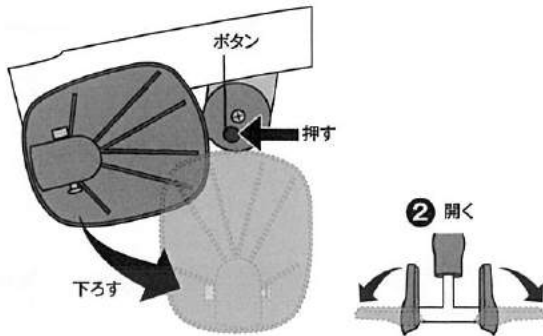
## 10. 足乗せステップの取り扱い方

⚠ 注意 足乗せステップを折りたたむ際は、お外トイレバスケットを必ず取り外してください。

### <お子様を乗せて、後ろから押すときは…>

・足乗せステップを下ろし、開く

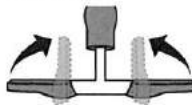
#### ① ステップ折りたたみパーツのボタンを押しながら、 「カチッ」という音がするまで足乗せ ステップパイプを下ろす



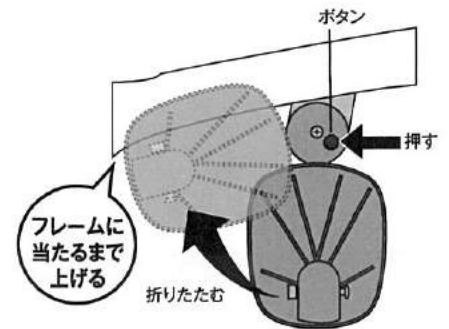
### <お子様が一人で、ペダルを漕いで遊ぶ時は…>

・足乗せステップを閉じて、折りたたむ

#### ① 閉じる



#### ② ステップ折りたたみパーツの ボタンを押しながら、 フレームに当たるまで 足乗せステップパイプを折りたたむ

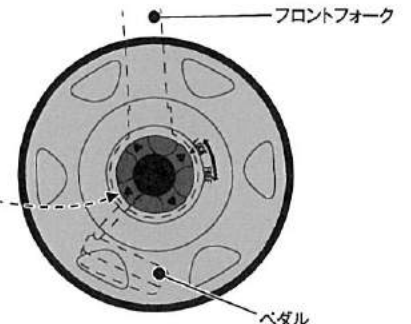


## 11. ペダルロック機構の取り扱い方

- ・「ペダルロック機構」の切り替えは、必ず保護者の方が行ってください。
- また、必ずお子様が乗っていない状態で行ってください。
- 手などを挟む恐れがあり大変危険です。
- ・「LOCK」モードのまま、押し手棒を操作しないでください。
- お子様の足を巻き込む恐れがあります。

⚠ 警告

ペダルロック機構を  
切り替える「ペダルロック  
ダイヤル」は、前輪の右側の  
中心、ペダルの内側にあります。



<お子様を乗せて、後ろから押す時は…>

## FREEモードにしてください。

(ペダルは空転し、足を巻き込みません。)

### 確認方法

上から見たときに、前輪右側のペダルとタイヤの間にペダルロックダイヤル(茶)が飛び出ている



## LOCKモード だったときは…

前輪を持ち上げた状態で、ペダルロックダイヤルを内側に押し込みながら、これ以上回らないところまで右に回す

⚠注意 指挟みに充分ご注意ください



- ② ペダルロックダイヤルが飛び出ていることを確認する
- ③ ペダルを回し、タイヤと一緒に動かないことを確認する

※ペダルロックダイヤルは、力強く、奥まで押し込んで回してください。

<お子様が一人で、ペダルを漕いで遊ぶ時は…>

## LOCKモードにしてください。

(ペダルとタイヤが連動し、お子様がペダルを漕げる状態になります。)

### 確認方法

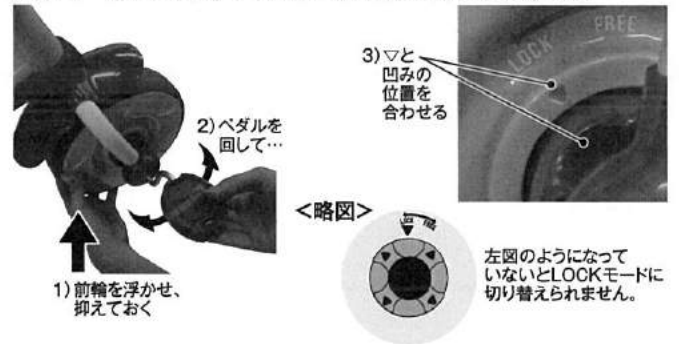
上から見たときに、前輪右側のペダルとタイヤの間にペダルロックダイヤル(茶)が出ていない



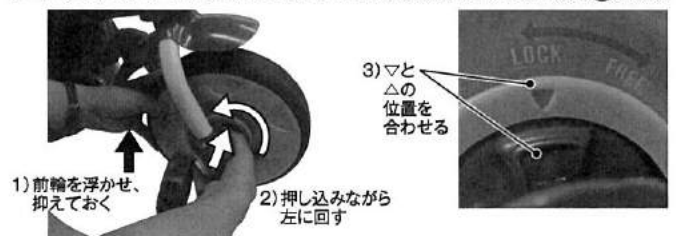
## FREEモード だったときは…

⚠注意 指挟みに充分ご注意ください

- ① 前輪を持った状態でペダルを回転させ、ホイールに書いてある「▽」と、ペダルロックダイヤルの凹んだ部分の位置を合わせる



- ② 前輪を持ち上げた状態で、ペダルロックダイヤルを内側に押し込みながら(※)、ホイールの「▽」と、ペダルロックダイヤルの「△」の位置がぴったり合うまで左に回す。(※)押し込めない場合①に戻る



- ③ ペダルロックダイヤルが、押し込まれた状態のまま固定されていることを確認する
- ④ ペダルを回し、タイヤと一緒に動くことを確認する

## 12. 日常のお手入れと保管

### <日常のお手入れ>

- 乾いた布やブラシで泥、土、ほこりを落としてください。
- 塗装部のお手入れ——乾いた布でよく拭き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でよく拭き取ってください。
- 錆びやすい場所(海岸、湿気が多い所)に置く時は、お手入れの回数を増やしてください。
- 塗装やメッキ部分に傷がついた時は、すぐにお手入れをしないと水分や湿気により、損傷箇所から錆びが発生しやすくなります。その際は、すぐに乾いた布で汚れを拭き取り、「錆び止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油を拭き取っておいてください。

### <注意> 以下の場合も錆びの原因となります。

- 焚き火の煙がかかった場合。特にビニールを燃やした煙がかかると錆びやすくなります。(塩化物を含む物質の燃焼時に塩素が発生し、塗装面やメッキ層に浸透して錆びが浮いてくると考えられます)
- ジュース等の飲料水等がかかったまま放置した場合
- 工事現場や金属加工場近くで金属粉が付着した場合

### <注意>

- シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 回転部分(クランク、車輪)には手を触れないでください。
- サドル、ハンドルグリップには、ワックスや油がかからないように注意してください。

### <日常の保管>

- 雨のかかる所、海岸付近、浄化槽付近、湿気が多い所に保管すると錆びの原因となりますので、市販の「サイクルカバー」をご使用ください。ただし、カバーを掛けっぱなしにしておくとカバー内に湿気が溜まってしまい、錆びてしまうことがあります。定期的にカバーをはずして、中の湿気をとってください。
- 直射日光の当たる場所での保管は、変色の原因となりますので、お止めください。
- 盗難防止のために、鍵をかけて保管してください。

### <廃棄時のお願い>

- 手ぶらで三輪車本体、部品等を廃棄する時は、各自治体の指示内容に従って処理してください。